

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



令和6年6月21日号  
発行:酒田市立宮野浦小学校

## 祝 創立150周年記念

本校は今年創立150周年を迎えます。明治5年(1872)に我が国初の近代的学校制度を定めた基本法令である「学制」が發布され、2年後には本地区にも小学校が整備されています。西田川郡宮野浦学校として創立し、児童数30名(女子は0名)、教室と職員室はそれぞれ一つあり、教員2名でスタートしました。その後、袖浦学校(明治8年)、宮野浦尋常小学校(明治20年)、西田川郡袖浦村宮野浦国民学校(昭和16年)、袖浦村立宮野浦小学校(昭和22年)と変遷し、昭和29年に酒田市立宮野浦小学校となり現在に至っています。校章は昭和37年に、児童・教員・保護者の話し合いで制定されています。宮野浦学区が漁業を生業としていたもので、ウミガメの甲羅を中心に、勉学に励む意味のペンを配置し図案化されました。校歌は修学旅行でバスガイドさんから「校歌を聴かせて下さい」と言われたことをきっかけに、昭和40年に完成しました。作詞の石森延男氏は、教科書や国語辞典の監修にも関わり、日本児童文学学会初代会長です。作曲は井上武士氏で、「こいのぼり」「うみ」「チューリップ」など多くの曲を手がけています。

現在304名の児童数ですが、昭和59年(1984)には現在の校舎に945名の児童が在籍していました。本校の卒業生はこれまで7192名、様々な場所・分野で活躍しています。図書室に300冊を超える菅原俊也文庫があるように、毎年数十冊の本を寄贈下さる先輩もいらっしゃいます。

150周年にあたり先日校長講話として、

- ① どうして宮野浦小学校で学ぶことができるのか考える
- ② 学ぶ姿を保護者や地域の人たちに伝える(発信する)

2点を特にこの一年間継続して欲しいこととして話しました。

校長



【20日 らんま先生(理科実験パフォーマー) 創立記念講演】